

地域資源「紫蘇」(しそ)を活用し稼げる農業経営へ差別化、ブランド化を図るため加工品も開発

地域資源の「紫蘇」(しそ)を活用し、生産から加工品開発・販売・輸出まで一貫した複合的・多角的経営による次世代型の、稼げる農業経営に取り組んでいる。紫蘇は毎日出荷可能で、軽量ゆえに輸送コストも低いことから、国内だけでなく海外でも販売できる商品作りを目指している。競合商品との差別化やブランド化を図るため、有機栽培の実施や、紫蘇の機能性成分に着目し、紫蘇のオイルやエキス、粉末等を医薬品や食品の材料等の加工品として提供している。

- 所在地 熊本県合志市野々島5472-7
- 電話/FAX 096-242-4878/096-242-4885
- URL <http://shiso.net>
- 代表者 代表取締役 吉川 幸人

- 設立 1999年
- 資本金 2,600万円
- 従業員数 8人



生産性向上

限られた資源の中で価値を最大化する製造設備・生産体制の構築

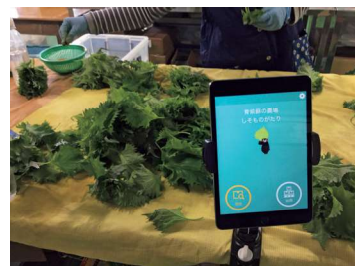
生産から加工・販売・輸出まで一貫した複合的・多角的経営を行い、限られた経営耕地でいかに利益を上げるかを追及。ICTや耐候性ハウス等を組み合わせた安定生産にも取り組み、全ハウスにセンサーとモニターカメラを設置しデータに基づく栽培管理を行う。また、画像自動選別機や業務用高速選別機を導入し、トレーサビリティ対応の出荷管理により4.6倍もの収益性向上を実現。更に加工部門・販売部門を分社化して、消費者ニーズを捉えた販売戦略を立案して、生産情報公表JAS規格、6次産業化、輸出にも取り組んでいる。



紫蘇を使った商品の数々

バックオフィス業務の改善による経営の見える化・安定化の推進

紫蘇(しそ)の収穫(摘み)・製造(束ね)・出荷・経理(給与等)といったバックオフィス業務において、独自に開発したシステムを導入し業務を効率化を進めている。これまで人力に頼っていた煩雑な各種入力等業務を見直し、専用ソフトウェアによるタッチパネル式に変更。これにより作業時間が65%短縮、人的ミス削減が100%削減された。更に業務改善や省力化を進め、日決算を実現して、経営の見える化・安定化を図っていく意向である。



業務効率に貢献しているタッチパネル

働きやすい環境を整備。女性、高齢者、外国人等多様な人材が活躍

ものづくり補助金を活用してICT活用による圃場管理や収穫後の品質管理工程における自動選別システム等を導入し、作業負担が86%削減、作業効率が6.7倍向上した。先端農業に取り組むことで積極的な女性採用・登用(役員、経理部門の要職に女性を登用)、高齢者雇用、外国人材の受入れを可能にしている。外国人材については、ミャンマー人の技能実習生を6名、通訳を2名採用。同国との関係づくりの強化を図っている。



多様な従業員が強さの源泉となっている

ものづくり